

## 壁面レリーフ パターンA

パネル全体は、既存樹のケヤキをピース状に貼り、多可町を模したデザインを中央に配置しました。背面には、名産品「播州織（タカタータン）」を使用し、木の温かみと現代的な柄で多可町らしさを表現しています。地域の自然や文化を未来へつなぐシンボルとして、新しい学校のスタートを祝う空間を演出します。

**パターンA（4）：播州織（タカタータン）を四隅、四角でいれつつ播州織ならではの染めた糸を垂らします。**

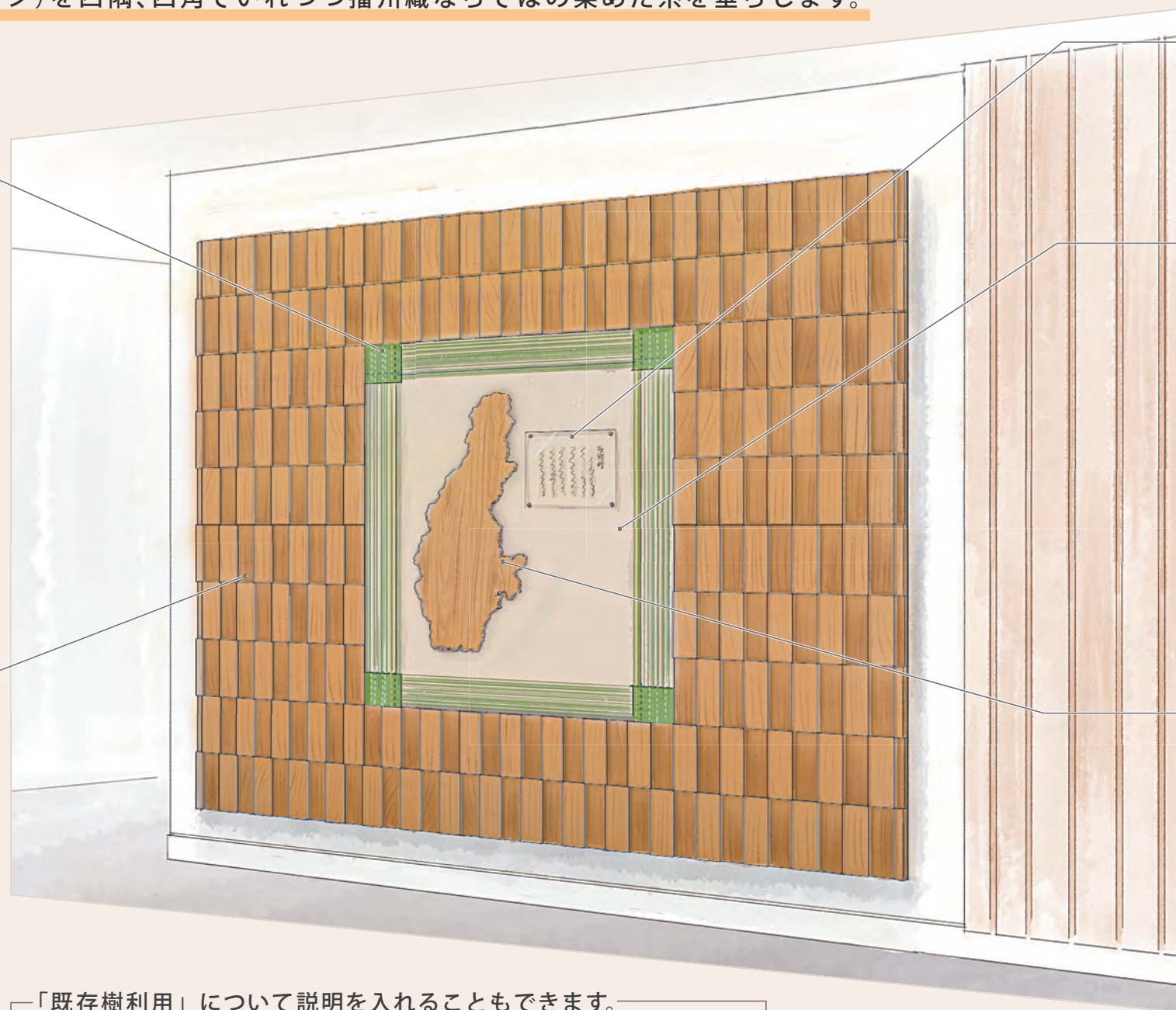
### 播州織（タカタータン）

200年以上の歴史がある綿織物で、兵庫県の北播磨地域を中心に作られています。自然な風合いと豊かな色彩が特徴で、糸から染める「先染め」の綿織物としても知られています。



### 既存樹：ケヤキ

多可町中央公園に生えていた木を細かくピース状にして壁面デザインとして再利用します。厚みを20mmと30mmと変化させることで立体感のあるデザインになります。



### 説明プレート（アクリル）

多可町について、歴史や由来を文章でも伝えます。文字の背面に杉原紙を見せて、表のアクリルに文章を書きます。

### 杉原紙

兵庫県多可町の北部・杉原谷で生まれました。1300年の歴史を持ち、900年以上続く伝統製法により製作されており、自然な白さの高品質な和紙を生み出しています。



### 多可町のデザイン

既存樹のケヤキを使用して、町パネルを製作します。遠くから見たときにも存在感があるように、町パネルの背面は杉原紙を使用しました。



「既存樹利用」について説明を入れることもできます。

